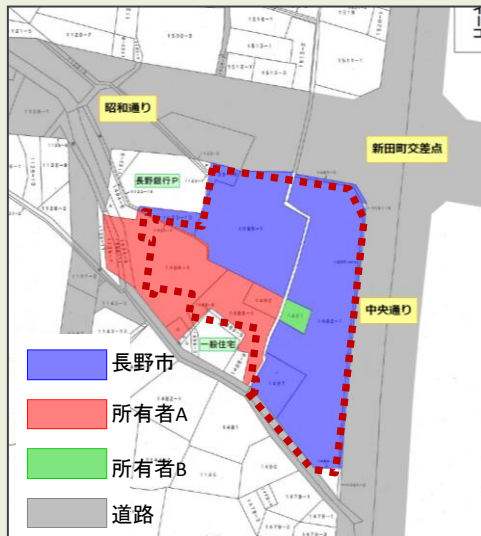


# もんぜんぷら座 耐震化手法の考え方

## 敷地条件

- 敷地面積 3,936.26㎡のうち、長野市所有地は約2/3。
- 残り1/3を借地している。



## 耐震化の種類

- 地震に対する安全性の向上を目的として行う、**補強**、**改築**、**修繕**もしくは建物の**除却**又は一部除却

**<補強>**

RC耐震壁	鉄骨ブレース	既存柱鋼板巻	増打壁	機械撤去
13ヶ所	6ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	6ヶ所
合計 29ヶ所				

RC耐震壁 + 鉄骨ブレース

非構造部改修(間仕切り等)

+

長寿命化(設備/防水等)

**改修工事中営業**

- 夜間/休業時施工/館内移転/改修範囲縮小等
- 業務継続

**改修工事中休館**

- 安全確保
- 施工性確保
- 工期短縮
- 工事費低減

**<改築>**

一旦解体

必要な用途や規模に沿う建物

新たな敷地用途を再整備

## 比較項目

- 専門家に委託して調査中の内容

### 概算工事費

- 補強は現状の規模/用途を想定
- 改築後の規模は、法令の特例を要しない範囲内とし、仮の複合用途を想定

### 実施の可能性

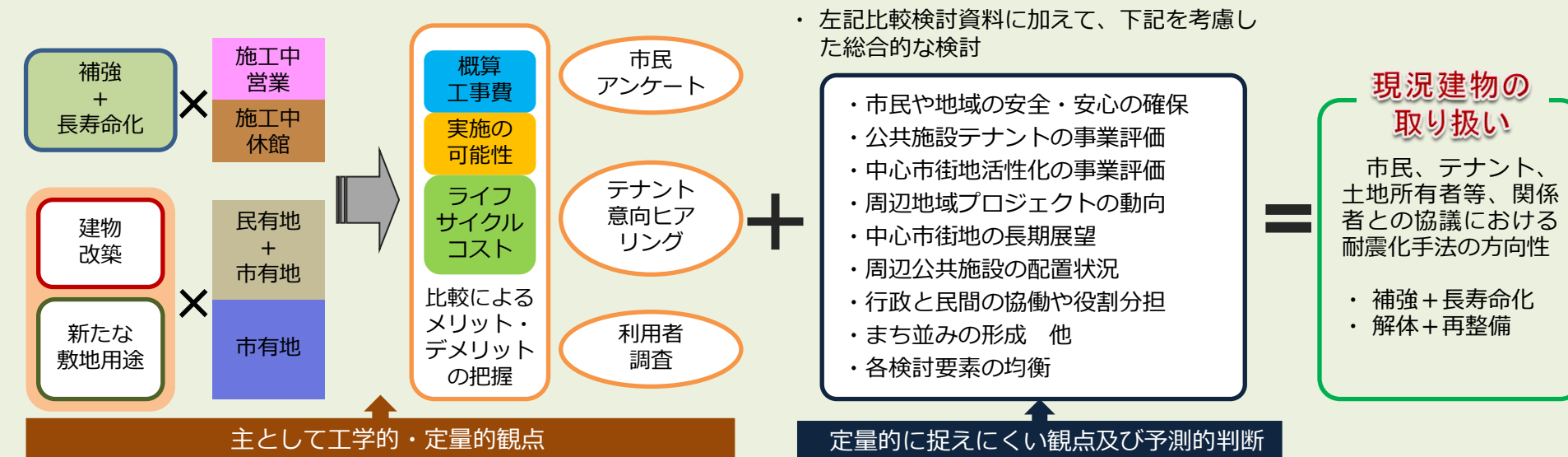
- 市民生活の確保/テナントの業務継続/施工の安全確保/周辺環境の維持保全 等から検討

### ライフサイクルコスト\*

- 「公共施設等長寿命化基本方針」を参考に使用期間を想定
- PFI\*導入は別途検討

※ 維持修繕費/光熱水費/管理運営費/借地料/収入等の総称  
※ 公共施設の建設や管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術力を活用して行う手法

## 検討パターンと在り方の総合的な検討



- 施設利用者やテナント事業者等においては、生活や事業継続に直結する課題として、早期にもんぜんぷら座の在り方と整合した対応を計画的に行う必要があります。
- 大規模地震への備えは喫緊の課題であり、長野市としても早期に対応する必要があると認識していると共に、当部会からの提案を基本とした方向性を基に、市民、テナント、土地所有者等、関係者との十分な協議を行って、実施する耐震化手法を決定したいと考えています。
- 関係者、長野市とも早期に対応を決定するために、検討の内容を段階的に絞り込みながら、効率的な協議を行えるよう、基本的な方向性となる、「補強+長寿命化」あるいは「解体+再整備」という現況建物の取り扱いについて、ご提案をお願いします。

## 次の検討段階へ

- 耐震化手法に応じた施設内容や施工・運営方法等

- 施設の機能・用途
- 整備・管理・運営の主体
- 管理・運営方法
- 実施工程
- 長寿命化の範囲(補強)
- 施設の規模(再整備)
- 検討・提案方法 他

➡ 平成30~31年度